

## マキノスクールが提唱する持続可能な農業・農村開発とは…

農村の住民が未来に向かって希望を持ち続け、平和な共生社会の実現です。そのための土台となる総合的な持続可能な農業農村開発を学び、異文化理解をお互いに深め、争いを起こさない平和な共生共存の実現に努力します。



具体的には以下の点に重点を置いています。

- \* 自然環境や健康を害する農業資材を使用する農業を否定し、総合的な環境保全型農業技術を目指す
- \* 地域内で再生可能な資源の使用
- \* 安定的で効率的な生産性を維持・持続できる農業を目指す
- \* オルタナティブマーケティングの推進、開発
- \* 付加価値製品などを広める
- \* 農民の収入の向上を促す
- \* 安全で健康な食ものに対する認識を高める
- \* 有機農業組合の強化
- \* 女性の社会参加を促す
- \* 農村における普及教育



## 応募資格

- 国際協力、農村開発に興味がある高卒以上の者。
- 英語やヒンディ語に挑戦しようと思う者
- 異文化理解、社会平和に貢献する意志のある者。
- 当コース期間中、農場での労働に意欲的に取り組むことができる者。
- 2013年度入学時で満18歳～45歳である者。
- 心身ともに健康な者。

## 研修費用

- 2013年度の学費は540,000円です。内訳は、寮費、一日3食分の食費、授業料、語学研修プログラム費用（英語かヒンディ）、入学金、空港からの送迎、インド国内研修旅行費用などが含まれます。
- 入学金は、4月1日までにお支払い下さい。
- 日本～インド間の渡航費、学生ビザ取得費、海外保険は自己負担となります。また、インドに滞在中の海外健康保険は必ず入ってくださるようお願いします。

## コース期間

- 集中語学研修 2013年4月中旬から2か月間
- 本コース 2013年7月1日より2014年4月中旬まで

## 申込期限

- 入学願書および、その他の提出必要書類等は、2013年1月30日までに継続教育学部に提出するようにして下さい。
- 入学願書はNPO法人アーシャのHP上で入手し、記入の上、Microsoft WordかPDF形式で下記のメールアドレスに添付して送ってください。

## サム・ヒッキンボトム農工科学大学 継続教育学部

Makino School of Continuing & Non Formal Education  
Phone: 91+532 -2684305 Fax: 0532 -2684306  
E-mail: [recruitment@ashaasia.org](mailto:recruitment@ashaasia.org)  
HP: <http://www.ashaasia.org/>



## 持続可能な農業・農村開発コース Special Course in Sustainable Agriculture and Development (SCSAD)



## マキノスクール（継続教育学部） サム・ヒッキンボトム農工科学大学



**Makino School of Continuing & Non Formal Education (MSCNE)**  
Sam Higginbottom Institute of Agriculture, Technology & Sciences  
(SHIATS)  
Allahabad U.P. 211-007, INDIA  
Phone: 0532 -2684305 Fax: 0532 -2684306  
お問合せ : Email: [recruitment@ashaasia.org](mailto:recruitment@ashaasia.org)  
HP: <http://www.ashaasia.org/>

## マキ/スクールについて

本スクールは、インド・ウッタルプラデシュ州アラハバード県にあるサム・ヒッキンボトム農工科学大学の学部です。1976年、牧野一穂博士がキリスト教の精神に基づいた農民のための継続教育プログラムを始められ、2001年、大学の継続教育学部として認められました。現在、インドや近隣諸国の農村農業開発に従事するワーカーを育成すると同時に、アラハバード県の農村を中心に、持続可能な農業、農村開発、農村教育、母子保健などの開発事業を行っています。

### コースの目的

農村の草の根レベルで持続可能な農業・農村開発に従事する献身的な農村リーダー、NGOワーカーを育成すること。

### コースの基本方針

- 当コースは、「参加型」「learning by doing - 実践に基づいた学習」「統合的学習」「シェアリング」などの概念に基づいて組み立てられています。
- 教室内での座学、農業・加工実習の他に、様々なイベントや農村滞在体験学習、インド国内研修旅行、短期ツアーなどを通して学びの場を提供しています。

### コース内容

当コースは、大きく分けて「知識習得のための座学」「技術的な実習」「個々の人間的成長を促す学習」「特別カリキュラム」の4つのセッションによって組み立てられています。



### クラスルームセッション

持続可能な農業について/統合的有機農業/作物保護の重要性/畜産学/開発問題について/食品加工/オルタナティブマーケティング/簿記



### 技術的な実習—有機農業

作物/野菜の栽培/循環型有機農法/自然養鶏・養豚・養魚/キノコ栽培/自然害虫駆除



### 個々の人間的成長を促す学習

リーダーシップ育成/キリスト教理解/聖書学習/様々なイベントの主催・参加/責任感やアカウンタビリティを身につける/他者との経験の共有を通して学びを得る



### 特別カリキュラム

農村滞在体験学習/農村調査/個人プロジェクト/グループワーク/グループプロジェクト/NGO・施設見学/長期・短期スタディツアー/特別イベント(スポーツデー・収穫感謝祭・国際交流)



### 技術的な実習—食品加工

食品保存/食肉加工/野菜加工/果実加工/大豆加工/瓶詰め/パッキング/小麦粉加工



### 技術的な実習—その他

炭作り/木酢液作り/農業微生物/オルタナティブマーケティング/農村収入向上プロジェクト/研修旅行

